ADVAN

TRENTINO GARAGE DOOR

トレンティーノ　ガレージドア

取扱説明書

The version 07 the Silvelox Secur and Secur Plus garage door is considered an excellent furnishing element owing to the attention to detail and the elegant finishing touches also present on the inside.

■ もくじ

1. はじめに ・・ 01

3. 各部解説 ・・ 02

3. 安全にお使い頂くために ・・ 04

4. ご使用方法 ・・ 05

5. 安全装置について ・・ 07

6. 定期的なお手入れ ・・ 07

7. リモコンの電池交換 ・・ 08

8. リモコンの再設定 ・・ 09

9. 鍵を紛失された場合 ・・ 10

10. 故障かな?と思ったら ・・ 11

11. トラブルシューティング ・・ 15

12. テクニカルデータ ・・ 17

13. アフターサービスについて ・・ 18

14. 定期メンテナンスのご案内 ・・ 19

1. はじめに

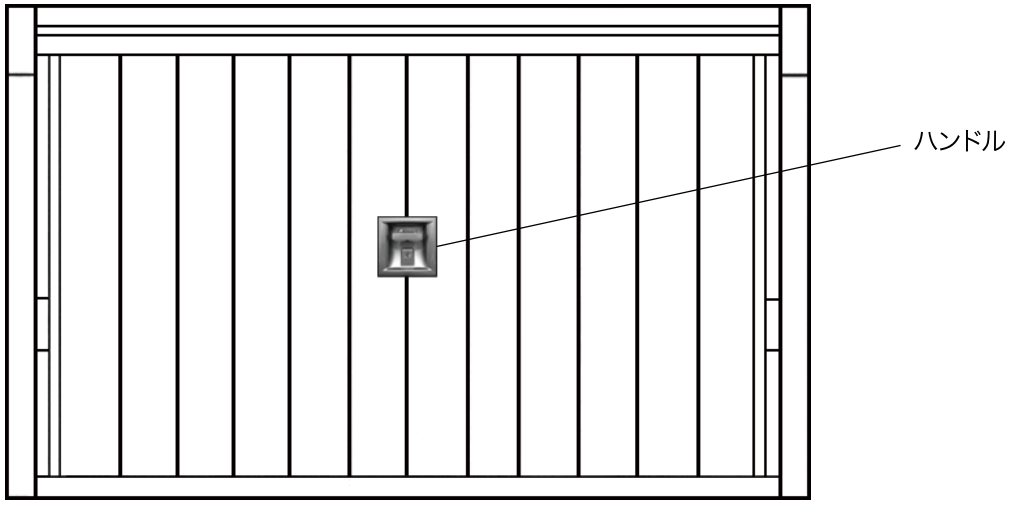
この度は弊社ガレージドア「トレンティーノガレージドア」をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。

ご使用になる前にこの取扱説明書をよく読み正しくご使用ください。

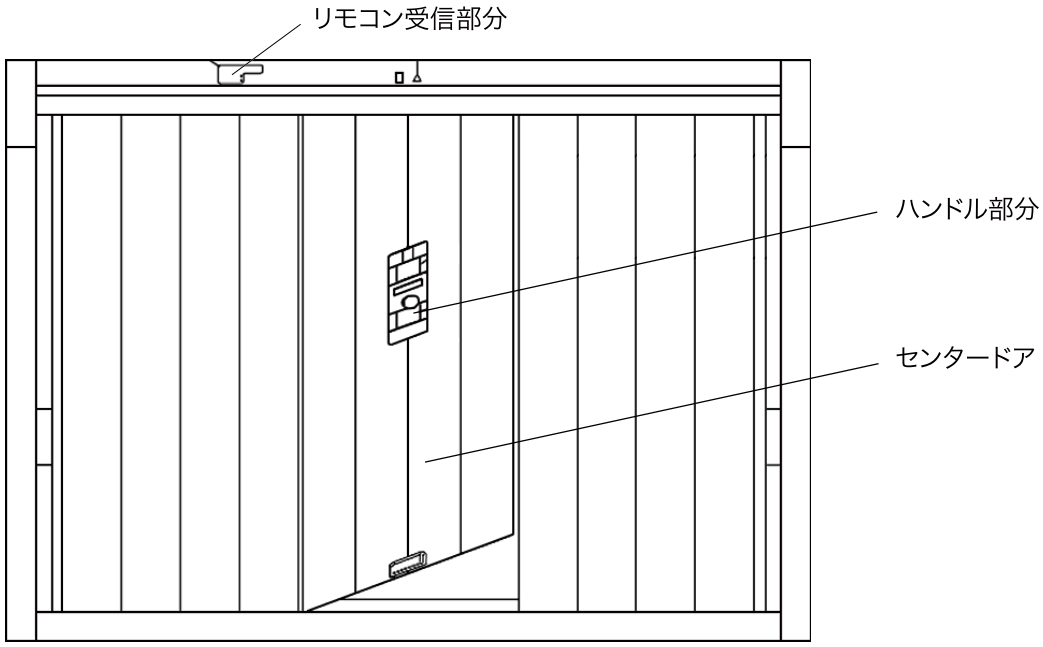
特に、「安全にお使いいただくために」の項目は必ず読まれて安全にご使用ください。

2. 各部解説

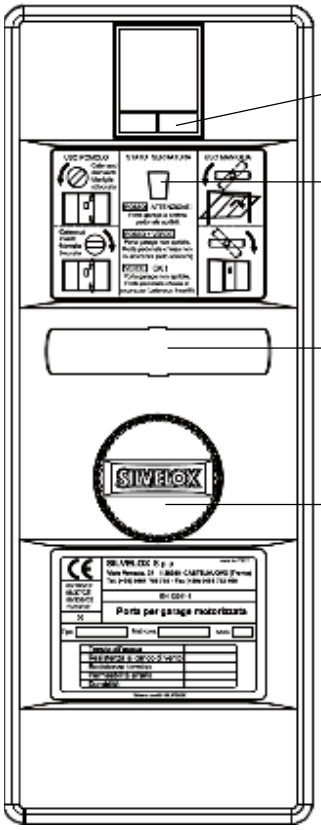
◎ 外観図



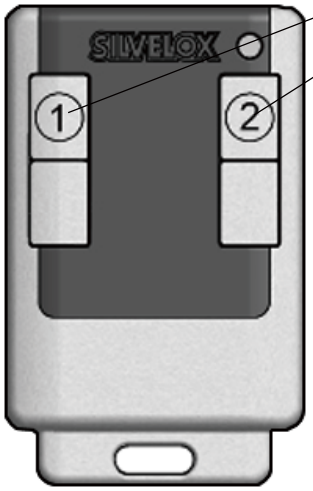
◎ 内観図



◎ 内側ハンドル部分



◎ リモコン



3. 安全にお使いいただくために

- 開閉操作をする際、ガレージドア近くに人がいない、物がないことを確認して下さい。
  ドアパネルにはさまれて、生命にかかわる事故になる場合があります。

- ガレージドアが動いているとに、人や車の出入りは絶対にしないで下さい。
  ガレージドアにはさまれて、生命にかかわる事故になる場合があります。

- ガレージドアが動いている間は、ガレージのそばを離れず、目を離さないように
  して下さい。特に閉まる間際は確実に見届けてください。
  第三者がガレージドアにはさまれて、生命に関わる事故になる恐れがあります。

- 動きがおかしい時、異常音がした時は、直ちに使用を中止して、修理を御依頼下さい。
  生命にかかわる事故になる場合があります。

- ガレージドアの下や、その付近で子供を遊ばせないでないで下さい。
  大けがをする場合があります。

- ローラー、ワイヤー、レール、ヒンジには絶対に手を触れないで下さい。
  思わぬけがをする場合があります。

- ガレージをおろす場合、パネルとパネルの間に指をかけないで下さい。
  指をはさんで大けがをする場合があります。

- ガレージドアの分解・改造は絶対に行わないで下さい。
  分解・改造が原因で、生命にかかわる事故に発展する場合があります。

- 手動でガレージドアをおろす場合、パネルの下に足を挟まないようにして下さい。
  足を挟んでけがをする場合があります。

- 手動でセンタードアもしくはガレージドアる場合、周囲に人が居ない、障害物が
  無いことを確認してから開閉を行ってください。
  人に当たり怪我をさせたり、物に当たってガレージドアを破損する場合があります。

4. ご使用方法

■ リモコンでのガレージドア開閉

◎開扉

ガレージドアが閉じた状態の時、リモコンのボタンを押します。

◎閉扉

ガレージドアが開いた状態の時、リモコンのボタンを押します。

◎ストップ

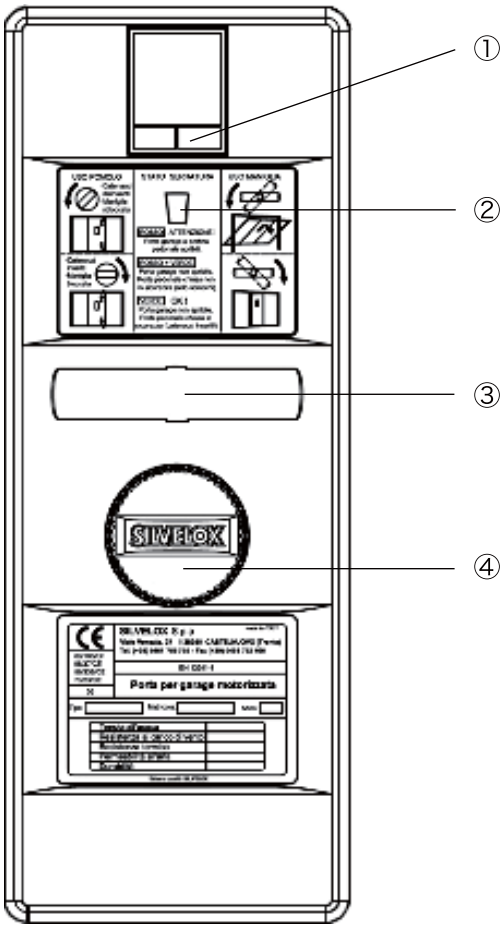
開扉、閉扉中にボタンを押すことで即座に動作は止まります。

※リモコンをご使用して開ける時、リモコンのボタンを押すごとに

開く→止まる→閉まる

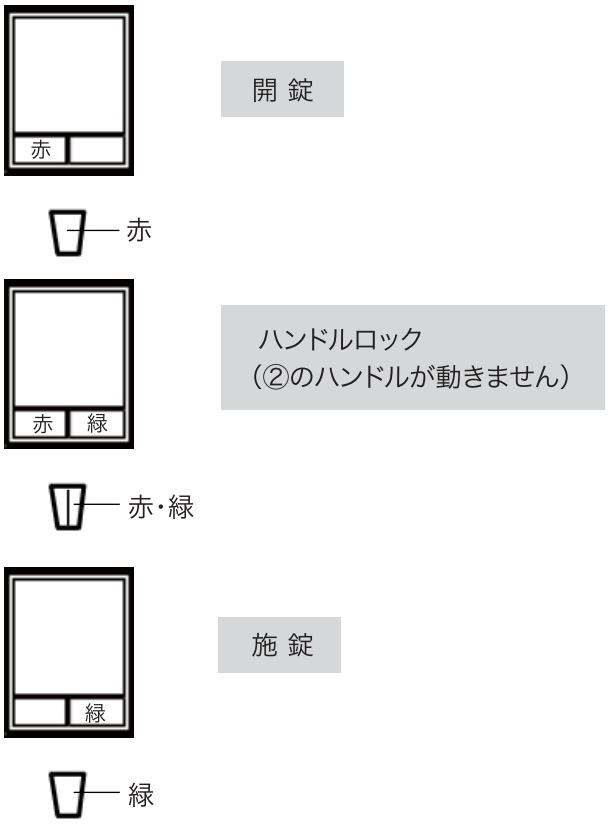
の繰り返し動作を行います。

■ ロックと手動開閉



・ロック状況の切替

①のLEDランプと②のマークでロック状況を確認出来ます。
切替えは④のダイヤルを回して行います。



④のダイヤルを
左に回して開錠

④のダイヤルを
右に回して施錠

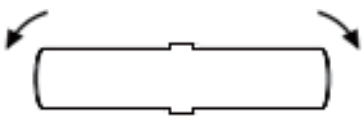
ダイヤル

■ ガレージドア・センタードアの手動開閉

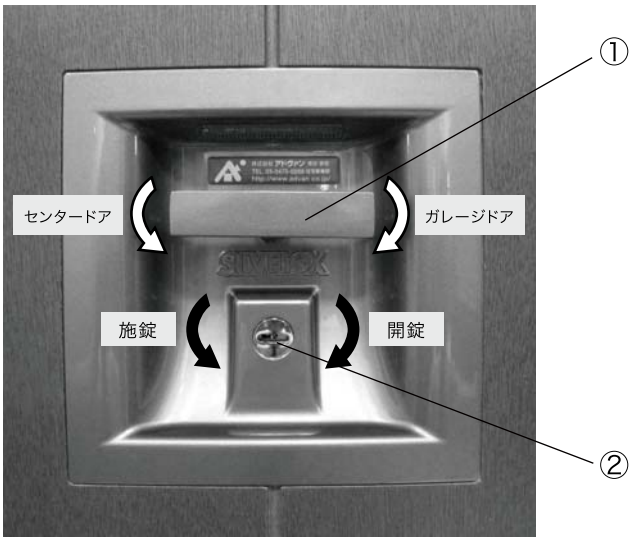
・内側からの開閉

③のハンドルを回してガレージドア・センタードアの開閉が出来ます。

ガレージドア
左に回すとガレージドアが開きます。



センタードア※
右に回すとセンタードアが開きます。
※センタードア付きのタイプのみ。



■ 外側からのロックと開閉

①のハンドルを回してガレージドアの開閉が出来ます。

右に回す とガレージドアが開きます。

左に回す とセンタードアが開きます。

②の鍵穴へ、鍵をグリップの緑のマークの面が上になるように差し込みます。鍵を左右に回して、施錠、開錠が行えます。

右に回す と開錠します。

左に回す と施錠します。

※鍵を取り外す際は、差し込んだ時と同じようにグリップの緑マークの面が、上になるまで回す事で取り外せます。

※ガレージドアはロックすると、鍵がないと外からは開閉できません。ご使用後は必ず、鍵を抜いてお客様でお持ち下さい。

5. 安全装置について

本製品は障害物を感知するセンサーが 2 箇所あります。
特に、センサー前に障害物があるとガレージドアの開閉が行われません。障害物を取り除いて開閉を行ってください。

6. 定期的なお手入れ

① パネル上のケーブルの留め金にグリスを塗って下さい。(両側)

② アームとヒンジの間にグリースを塗って下さい。

④ スプリングロックとその受けに潤滑用のグリスを塗って下さい。

⑤ ワイヤーにはグリスを塗らないで下さい。

⑥ 濡れたタオルなどで汚れやごみを落としてください。洗剤を使用する際は、中性の物をご使用ください。

※注) 酸性、アルカリ性のものはご使用にならないで下さい。

⑦ ケーブル、アームの留め金が閉まっていない場合は、しっかりと締めてください。

7. リモコンの電池交換

リモコンのボタンを押してもガレージドアへの反応が鈍くなったり、反応しなくなった場合、
リモコンの電池が切れている可能性があります。
以下の手順で電池の交換を行ってください。

■ 手順

1． リモコン背面のビス部分を２mm 六角レンチにて取外してください。

2． リモコン背面のプラスチックカバーを外してください。
※リモコン正面を下に付け背面のみを取外してください。
リモコンのボタン部分が外れ、紛失してしまう場合もあります。

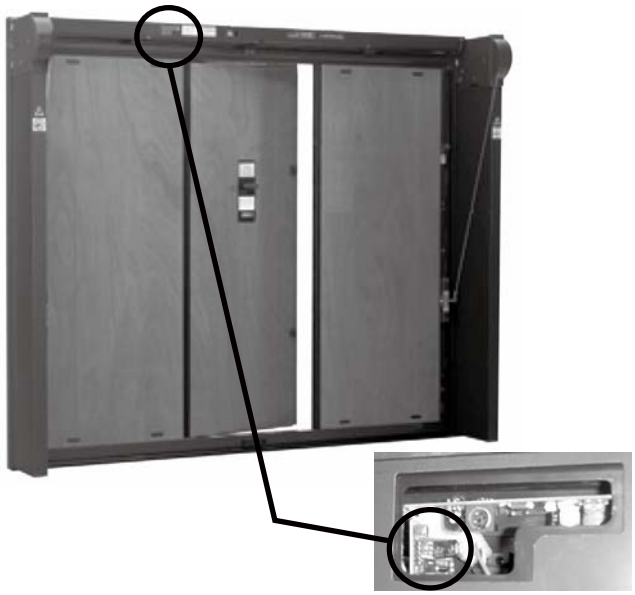
3． 基板にある電池を下にスライドさせ取外してください。

4． 電池の取付けを行ってください。上部が＋（プラス）面になる様に取付けます。
5． 電池交換後、プラスチックカバーを取付け、ビスで締め付けてください。

◎ 使用する電池は「ボタン型リチウム電池　ＣＲ２０３２」です。
（コンビニエンスストア、ホームセンターなどでご購入ください。）

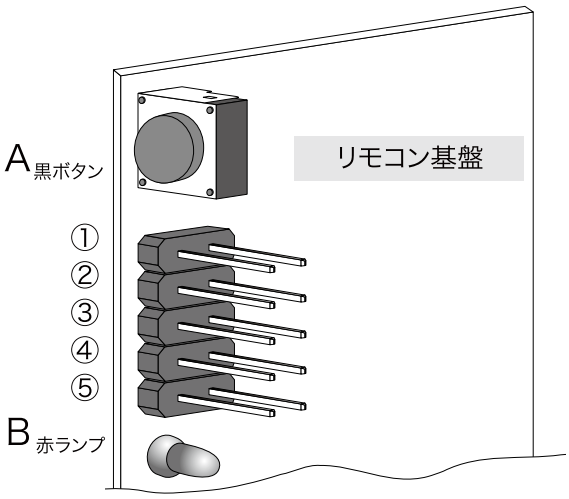
8. リモコンの再設定

リモコンの電池交換を行っても、ガレージドアが反応しない場合や、
新たに購入された時はリモコンの初期設定を行う必要があります。

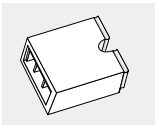


■ 手順

1. ガレージ上部の透明プラスチックの窓があります。
   マイナスドライバーで透明なフタをこじ開けて下さい。

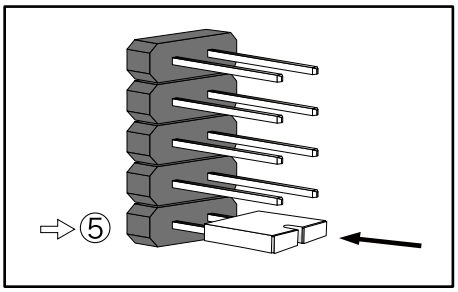


2. 窓の中の左側に図のようなリモコン基盤があります。
   付属の黒いショートプラグを図1のように⑤番目のピンに差し込みます。



– ショートプラグは非常に小さいので大切に保管して下さい –

図1



3. この状態で、Aの黒いボタンを押したまま、リモコンボタンを押します。
   図2

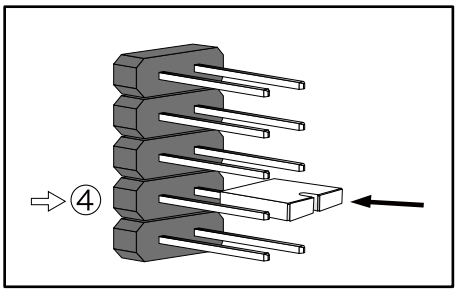
※リモコンは、2つのボタンどちらでも設定可能です。
※使用するボタンを設定して下さい。

図2

4. B の赤ランプが点灯したらOKです。
   （ガレージドアが複数ある場合は、各ドアごとにセットしさい）

5. セット完了後、必ず黒いショートプラグは⑤番のピンから抜いて、
   図3のように④番のピンの片側に差して保管して下さい。

図3



9. 鍵を紛失された場合

「トレンティーノガレージドア」の鍵は通常の複製方法では作成できません。
付属している登録カードをご用意いただき、弊社担当までご連絡ください。
なお、合鍵のお取り寄せにはお時間がかかります。あらかじめご了承ください。

10. 故障かなと思ったら

異常があった場合、確認して下さい。

※リモコンボタンを押してもドアランプが点滅しない。

1　ドアセンサーの前に物が置かれてある。
2　リモコンの電池が切れている。
3　センサードアが完全に閉まっていない。
4　本体に電気が来ていない。
5　リモコンセットがされていない。

※リモコンボタンを押してもリモコンの赤ランプが点灯しない。または点灯しても暗い。
この場合は電池を交換して下さい。

交換用電池　23A(セキュリティー用)12V・・・家電量販店、ホームページなどで入手できます。

※ドアランプは点滅するけれど、ドアが開かない。異常警告ランプを見て下さい。

異常警告ランプの見方

プリント基板上に異常が発生した時、黄色のランプが点滅します。
点滅の回数で発生箇所が特定できます。
異常事態の時、点滅回数を確認して下さい。

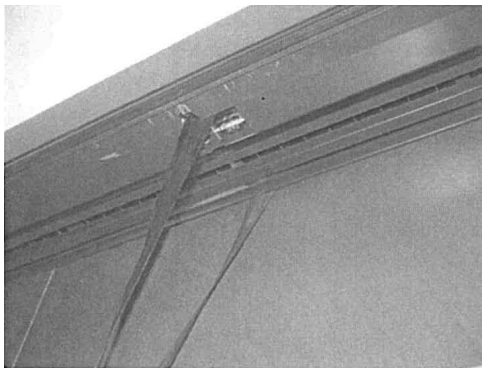
２回	センタードアが完全に閉まっていない。もしくはマグネットスイッチ動作不良。
３回	センサー上に障害物がある。もしくはセンサー関係の不良。
４回	スタート回路不良。リモコン受信不良。
５回	モーター不良。
７回	モーターへの過負荷。
８回	オープンリミットマグネットスイッチ　調整不良もしくは故障。
９回	クローズリミットマグネットスイッチ　調整不良もしくは故障。
１０回	モーターエンコーダーからの信号が来ていない。
１２回	オープン・クローズ回線の断線。

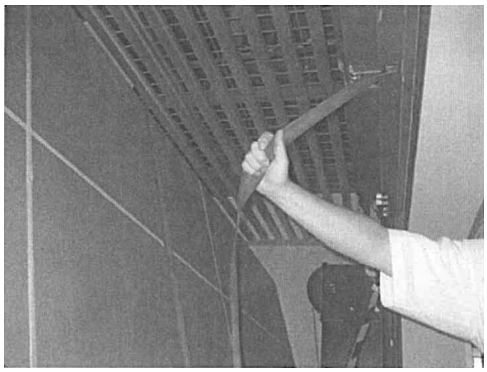
ベルトがたるんだ場合

⚠ 注意　次の注意事項を守ってご使用ください。注意事項を守らないとケガや事故につながる恐れがあります。

注意　　ドアに挟まれない様、注意して作業して下さい。
急にドアが動き出さない様、リモコンは不用意にさわらないで下さい。

手動で素早くドアを開けると、ベルトがたるんだままになる事があります。
故障ではありません。ベルトが伸びた状態で巻き取りが引掛かったのが原因です。
この場合はベルトをさらに引いて手を離すと巻き取りが始まり、元に戻ります。



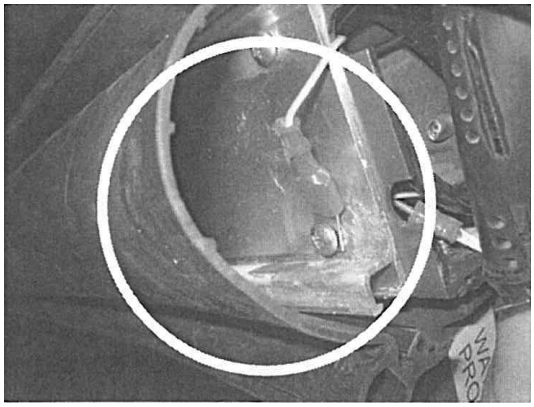


センサーのアースについて

⚠ 注意　次の注意事項を守ってご使用ください。注意事項を守らないとケガや事故につながる恐れがあります。

注意　　作業の前に必ず電源を抜いてから取り掛かって下さい。

時々ドアが開かない。センサーが動いてもドアがストップしない。こんな症状が出たら、
ドアセンサーのアースを確認して下さい。外側から見て、ボトムゴム（右下）の中です。
めくって見て下のアース線が見えます。
ネジで金属部分を固定してありますが、ネジが緩む事があり接触不良を起こします。
強く締め直して下さい。



オープンセンサーのトラブル

●オープンセンサーも異常の時は異常ランプが8回点滅します。

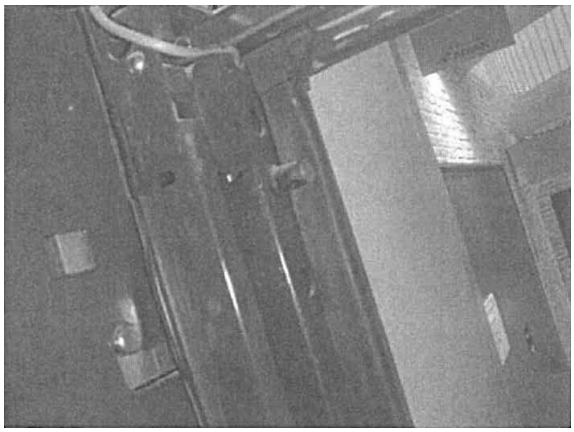
→業者へ連絡してください。

●オープンセンサー（開戸感知器）の間隔が大きすぎるとセンサーが動かない為、
ドアが開かなかったり、上がったまま下りて来なかったりします。

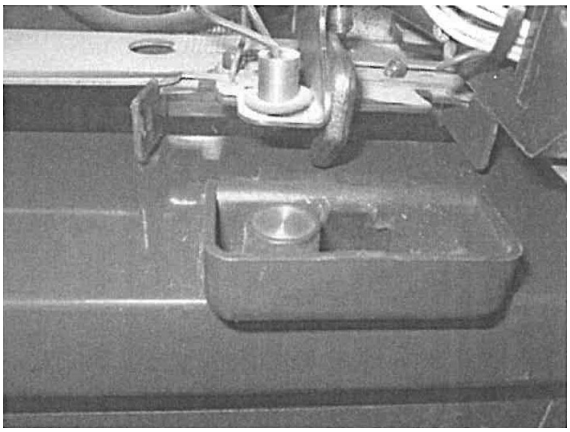
※本体側のマグネットスイッチは出っ張り具合のアジャストが±２mmほど調整できます。
間隔の調整が必要です。

※ドアの片寄りの為、間隔が大きくなる事があります。ドアが正しく施工されているか
チェックしてください。

※オープンセンサーの断面。配線がドライブシャフトに触っている場合は断線する事が
あります。



オープンセンサー



クローズセンサー

クローズセンサーのトラブル

●クローズセンサーの異常の時は異常ランプが9回点滅します。

→業者へ連絡してください。

●クローズセンサー（閉戸感知器）間隔が大きすぎるとセンサーが動かない為、
ドアが開かない事があります。本体側のマグネットスイッチとドア側マグネット
の間隔は3mmが適正です。

※本体側のマグネットスイッチで間隔を２mmに調節して下さい。

※マグネットスイッチは可動式なので、コードの断線も考えられます。

ガレージドアが下りてこない

●異常ランプが７回点滅します。

→業者へ連絡してください。

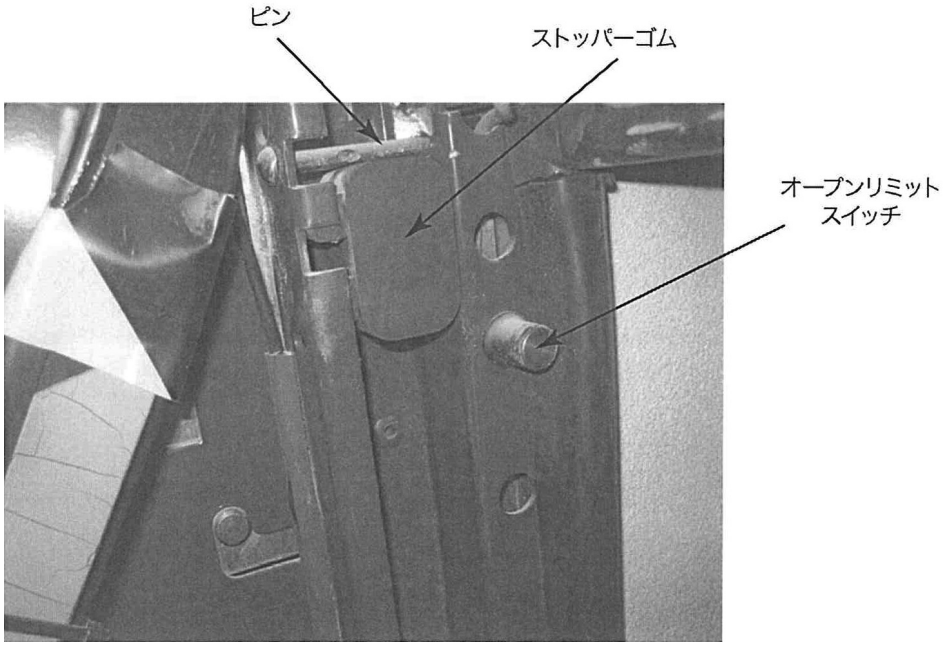
●ガレージドア全開の時
1. ドアが上がり過ぎて、モーターで閉まり難い
2. 時々閉まらない事がある
3. 少し手で下げると動き出す
4. モーターが重そうな音で回っている

このような症状の時は、ドア全体が上がり過ぎているのが原因と考えられます。
両サイドにあるストッパーゴムを調節して下さい。

※両サイドのストッパーゴムが当たっているピンを１段下げる。６cm位下に１段下げる為の穴があります。ゴムを下げて、ピンをたたいて抜き、付け直して下さい。

※ピンを１段下げた分ストッパーゴムが下がります。ドアのローラーはここで止まります。

※中から見て左側にオープンリミットスイッチがあります。このスイッチも１段下げる必要があります。ピンと同じ様に１段下ろして取り付けて下さい。一度配線を外してから、元の様に付け直します。



11. トラブルシューティング

問題	状態	処置、修理法
リモコン押しても動かない ドアランプも点かない	リモコンの赤ランプが点かない (リモコン不良の場合もある)	電池が無い　電池交換
		電池の接触不良　接点を磨いて下さい
	赤ランプが点くがドアの反応無し	リモコンの設定不良　再設定して下さい
	グリーンのパイロットランプが点かない (クロスバー中央の通電ランプ)	コンセントが正しく差さっていない
		ガレージに電気が来ていない
		機械の電源ヒューズが切れている
	センサーのグリーンランプが点かない	チューブセンサーの故障　交換(3回点滅)
ドアが開かない (通電の青ランプ点灯OK)	異常ランプ4回点滅(リモコン機能トラブル)	リモコン受信不良　再設定
		スタート回路故障　リモコン基板交換
ドアが開かない リモコンの反応はある (通電の青ランプ点灯OK)	異常ランプ2回点滅(センタードア系のトラブル) 開閉の時にもなる事がある	センタードアが開いている　きちっと閉める
		センタードアのマグネットスイッチ不良　交換
		センタードアのマグネットスイッチがずれている
	異常ランプ3回点滅(センサー系のトラブル) (ドアランプが点滅するが動かない)	センサー作動している　物がさえぎっていないがチェック
		エンコーダーの不良　交換
		基板の故障　交換
	ウエイトケースのセンターランプが点いていない (赤いランプ)	センサーの故障　交換
		コネクターの接触不良　コネクター修理　直結
		コードの断線　交換
	ドアパネルのセンターランプが点いていない (ボトムゴムタイプを含む) (ボトムゴムタイプは薄緑色)	センサーの故障　交換
		コネクターの接触不良　コネクター修理　直結
		コードの断線　交換
	センターが反応しない(カチカチ音なし)	ウエイトケース　センサーの故障(コードコネクターも含む)
		ドアパネル　センサーの故障(コードコネクターも含む)
	たまに開く時がある(接触不良)	上部クロスバー内部でコードが突っ張っている　コードを緩める
	ドアが開かない(センサー作動) 少し開いた所ですぐ止まる	ボトムゴムが外れ光が真直ぐに通らない　ゴムをフレームにはめ直す
		ボトムゴムの中に水がたまっている　防水の処理をする
	センサーの赤ランプが瞬きする	センサーの故障　センサー交換
ドアが開かない リモコンの反応はある (通電の青ランプ点灯OK)	異常ランプ5回点滅(モーター系のトラブル)	モーター自身の故障　交換
	異常ランプ7回点滅(モーターへの過負担) (開閉の時、途中で止まる事がある) *ドアの動きが重い　軽く動く様に注油が必要	各シャフト、軸受けのオイル切れ　要注油
		ギア関係のオイル切れ　要注油
		サイドレールの垂直が正しくない　レール再取付けが必要
		サイドのローラーシャフトが短い　長いシャフトに交換
		ローラーが壊れている　ローラー交換
		ウエイトバランスが狂っている　バランス取り直し
ドアが開かない リモコンの反応はある (通電の青ランプ点灯OK)	異常ランプ8回点滅(オープンリミットスイッチ関係)	スイッチの距離調整、故障、再調整か交換
		コードの断線、コネクタ接触不良　交換か直結
	異常ランプ9回点滅(クローズリミットスイッチ関係)	スイッチの距離調整、故障　再調整か交換
		コードの断線、コネクタ接触不良　交換か直結
ドアが開かない リモコンは正常	異常ランプ10回点滅(モーターエンコーダー関係)	エンコーダーからの信号が来ていない　エンコーダー交換
		エンコーダー基板が焦げている　エンコーダー交換
ドアが開かない	異常ランプ12回点滅(オープン・クローズ共有回路関係)	リミットスイッチ回路の断線 特にオレンジコードの断線 コード交換修理
	ドアランプ点滅するがドアが開かない	15Aのブレートヒューズが切れている　赤から青に変更するように
	(ノーマルのみ)コードの断線	サイドフレーム内部に入っているコードの断線　交換

11. トラブルシューティング

問題		状態	処置、修理法
センサーが作動しない		ボトムゴムがつぶれてもドアが停止しない	センサーのアースの固定が緩いので締めましをする(クリーンのコード)
		センサーの赤ランプが点かない	基板の4Aガラス管ﾋｭｰｽﾞが切れている
		遮ってもドアが反応しない(止まらない)	ｳｴｲﾄｹｰｽ　ｾﾝｻｰの故障　(ｺｰﾄﾞｺﾈｸﾀｰも含む)
ドアの開閉時、途中で止まる		センタードアスイッチの故障	ﾄﾞｱｽｲｯﾁ(ｱﾝﾀﾞｰﾊﾞｰ側)の交換　(2回点滅)
		コネクターの接触不良	左側ｺﾈｸﾀｰ接触点検　特に可動部の引回し(2回点滅)
ドアが点かない(ノーマル以外)		前後とも点かない　ドア下部の接点、接触不良	接点を紙ﾔｽﾘで磨き、赤ﾗﾝﾌﾟが点灯するか確認
		前後どちらか点かない	電球切れ、電球接点の接触不良　電球交換
一度閉って開いてしまう		ベルトの切換えタイミングが遅い	ﾍﾞﾙﾄﾀｲﾐﾝｸﾞ調整をやり直す　(ｼｬﾌﾄとの間隔を広くする)
ドアが下がらない		ベルトの切換えタイミングが速すぎ	ﾍﾞﾙﾄﾀｲﾐﾝｸﾞ調整をやり直す　(ｼｬﾌﾄとの間隔を狭くする)
		ドアが上がりすぎている(手でも下がりにくい)	両ｻｲﾄﾞのｽﾄｯﾊﾟｰｺﾞﾑを1段下げる(ﾘﾐｯﾄｽｲｯﾁも下げる)
		オーブンマグネットスイッチの故障	ﾌﾚｰﾑに付いている側のﾏｸﾞﾈｯﾄｽｲｯﾁの交換
開いてる時に、さらに開く		オーブンマグネットスイッチが働いていない	ｵｰﾌﾞﾝﾏｸﾞﾈｯﾄｽｲｯﾁの間隔調整、ｽｲｯﾁ不良交換
下がる時、途中で戻る		ベルトの切換えタイミングが速すぎる	ﾍﾞﾙﾄﾀｲﾐﾝｸﾞ調整をやり直す　(間隔を狭くする)
		モーターに負荷がかかりすぎカットアウトが働いた為	垂直ﾚｰﾙの立付けが悪い　レベルの見直し
		止まる位置がほぼ一定している	可動部の近くのｺﾈｸﾀｰの接触不良　ｻｲﾄﾞﾌﾚｰﾑ内部のｺｰﾄﾞの断線
ドアが開きずらい		ボトムゴムが床に当たっている	ﾄﾞｱを上に上げるか、床を下げる(切り込みでも良い)
		ｹｰﾌﾞﾙﾃﾝｼｮﾅｰがきいていない	ｹｰﾌﾞﾙ押さえがあまり効いていない　ｹｰﾌﾞﾙ押さえの調整
		ﾌﾚｰﾑの取付けが正確でない	ﾌﾚｰﾑ(3方枠)の取付け修正
モーター音はするが開かない		モーターだけが回っている、他はどこも動かない	ﾓｰﾀｰの螺旋ｼｬﾌﾄのﾋﾟﾝが折れている　ﾓｰﾀｰｱｯｾﾝﾌﾞﾘｰ交換
		モーターだけが回っている(時々開く時もある)	ｵｰﾌﾞﾝｷﾞｱが少しｽﾗｲﾄﾞして止る　ｽﾗｲﾄﾞｼｬﾌﾄのｸﾞﾘｰｽを拭き取る
ドアが最後まで閉らない		(ﾓｰﾀｰ時及び手動時) 上部のフックがラッチシートに掛からない	ﾍﾞﾙﾄの調整(切換えﾀｲﾐﾝｸﾞ遅い)
			ﾄﾞｱﾊﾟﾈﾙ　ﾌﾚｰﾑの取付け不良の場合は、再取付け
			ﾗｯﾁｼｰﾄの前後、上下の調整
		フレームの取付けが正確でない	取付けﾚﾍﾞﾙの調べ直し　狂っている場合は再取付け
		ベルトが伸びて、垂れ下がる	ﾍﾞﾙﾄ巻取りｼｬﾌﾄの動きが、しぶい為注油
異音がする	クロスバー	左右のシャフトのぶれからノイズが出る	ｸﾛｽﾊﾞｰのﾄﾞﾗｲﾌﾞｼｬﾌﾄの軸受けに注油(4ヶ所位いあります)
	パネル	ワイヤーのきしみ音が出ている	ﾄﾞｱとﾜｲﾔｰの付け根に(一度外してから)注油
	サイドカバー	サイドカバー内部で音がする	ｳｴｲﾄｹｰｽがｶﾊﾞｰに接触している　ﾜｲﾔｰのよじれ取り
センタードアが閉まらない		ガスケットが外れている	ｶﾞｽｹｯﾄ取付けし直し
		ドアの間隔が狭い為開閉が重くなる	両ｻｲﾄﾞのﾊﾟﾈﾙが中側に押している。間隔800mm以上に広げる
モーター音が大きい		モーター後部のｴﾝｺｰﾀﾞｰにローターがさわっている	ｴﾝｺｰﾀﾞｰの不良　交換か、調整
ドア全体の動きが重い		(手動時及びﾓｰﾀｰ時) モーターギアのオイル切れ	可動部分の全てに注油　ｽﾗｲﾄﾞｼｬﾌﾄにはｸﾞﾘｰｽは付けない
		ローラーベアリングが軽く回らない	ローラーに注油　シャフトの点検　レールのあたりを見る
		アーム　ブーリー　ギアのオイル切れ	可動部分の全てに注油
		ウエイトバランスが狂っている	ウエイトの増減再調整　ワイヤーのよじれを取る
鍵が抜けない		シリンダー内部のｵｲﾙ切れ	鍵穴に潤滑油を吹き込む(CRC　5-56)

12. テクニカルデータ

● 本体仕様

形式名称	トレンティーノガレージドア	モーター定格電圧	３６Ｖ　ＤＣ
電源	１００Ｖ　５０／６０Ｈｚ	モーター定格最大電力	３００Ｗ
総消費電力	３５０Ｗ	モーター回転数	１４０ｒｐｍ
システム騒音レベル	７０ｄｂ以下	モーター最大出力	１６Ｎｍ
防水規格	ＩＰ３４		

● リモコン使用

形式	２台用リモコン	４台用リモコン
電源形式	ＣＲ２０３２（ボタン型リチウム電池／３Ｖ）	
送信周波数	３６６.９２Ｍ Hz	
使用可能気温	-１０℃～５５℃	

１３.アフターサービスについて

修理サービスを依頼される前に

取扱説明書P.10ページの「９.故障かな?と思ったら」の項を参照して確認してください。

保証書と保証期間

お渡しする書類の中に保証書があります。取扱店で所定事項を記入してからお渡ししますが記入がない場合、あるいは間違っている場合は取扱店にご連絡ください。記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間は納品日から１年１か月です。

修理を依頼されるとき

《保証期間中》

修理に際しては、保証書の規定に従って修理させていただきます。

《保証期間が過ぎているとき》

修理する事で使用可能な商品については、ご希望により修理させていただきます。

《修理料金》

基本料＋作業料＋部品代で構成されます。
交換部品はアドヴァンホームページより購入いただくことも可能です。
https://www.advan.co.jp
作業員の手配は株式会社アドヴァン　商品部技術課にお問い合わせください。

《ご連絡していただきたい内容》

（１）ご住所、ご氏名、電話番号
（２）商品名
（３）シリアルナンバー
（４）納品日
（５）故障内容、異常の状況
（６）ご訪問希望日

※当社では当社取扱商品のご購入者さま、および流通業者さま等の商品納入に当って取得した個人情報は、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社のプライバシーに記載されている目的のためにのみ利用させていただきます。個人情報についての詳細は当社のホームページをご覧ください。

アドヴァンホームページ（https://www.advan.co.jp/treatment.html）

株式会社アドヴァン　商品部技術課
TEL : 03-3475-0219　　対応時間　９：００～１８：００

14. 定期メンテナンスのご案内

メンテナンスは2年ごとに弊社へご依頼ください。

トレンティーノ・ガレージドアを末長く安心してご利用頂くために、弊社専門スタッフによる定期的なメンテナンス（有償）をお薦めしております。

可動部を中心としたオイル類の塗布、ワイヤーやボルト類の点検・整備などを行うことにより故障を未然に防ぎ、良いコンディションを保つことが出来ます。

例えばサイドローラー（消耗品）が減っている状態で使い続けるとモーターユニットの寿命を大幅に縮め、高額な修理代を要することもございます。

このような事態を防ぐためにも、2年ごとを目安としたメンテナンスをご依頼頂きたくお願い申し上げます。

【メンテナンスに関するお問い合わせ】

株式会社アドヴァン　開発部　技術課
電話　：　03-3475-0219
FAX　：　03-3475-0416
e-mail　：　tech02@advan.co.jp

各消耗部品の対応年数（目安）は以下の通りです。

部品名	機能	耐用年数
サイドローラー	扉の開閉時に左右のバランスを維持するローラー	4年
ラバータッチセンサー	開閉時の下部障害物を感知するセンサー	4～6年
モーターユニット	扉を開閉させる心臓部	7～10年
メイン基盤	リモコンからの信号を受信し、信号を送る基盤	7～10年

【費用について】

出張作業費￥35,000～（地域による）　+　部品代となります。（税別）

メンテナンス時に交換の必要な部品が見つかった場合は、その場でご報告し承諾をいただいた上で交換させて頂きます。